

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			埼玉県指定基準（163㎡/247㎡）を満たしております。利用時間枠ごとの定員を少人数（現在は多くても4名）にしており、70㎡程の活動スペースで安全に過ごせていると思えます。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者の他に作業療法士1名、保育士1名を配置しており、ご利用の方が多い曜日には児童指導員も入ることがあります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			お子様が日常生活動作やその日のプログラムなどに集中できるよう、遊具や棚の配置、柵の設置などを工夫しております。また、室内は段差のないフラットな構造で、広めの幼児用トイレもございます。感染症対策についての告知や無償化対象のお知らせなど、必要最小限の掲示は行っております。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			活動スペースのみならず、トイレや職員の部屋も日々清掃・消毒し、電子機器による温度や湿度の調整もしております。また、活動に合わせて遊具の準備・片づけがすぐ行えるように努めております。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員全員で業務の振り返りを適宜行っております。また、法人内の放課後等デイサービスの職員とも連携を図り、月例会議を行い、業務改善に努めております。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		2019年6月開所のため今回が初の評価となります。今回保護者等の皆様からいただいた評価やご意向等を業務改善につなげてまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		2019年6月開所のため今回が初の評価となります。事業所として支援の質に関する自己評価や、改善の内容等を公開してまいります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、行っておりません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の研修は年2回程度行っております。また、開所以来数回、市の総合療育センターや児童発達支援センターの職員にご来所いただいたり、逆にセンターを見学させていただいたりする中で、ご助言を賜っております。
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者のみで作成するのではなく、職員間で検討した上で作成しております。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			感覚プロフィール簡易版を用いております。また、児童発達支援ガイドラインに基づいて事業所で作成したアセスメントシートを使用しております。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			児童発達支援ガイドラインに基づいて、提供すべき3点（「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」）に留意し、特に「発達支援」の本人支援に関しては支援内容を具体的に設定するよう努めております。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			毎時間プログラムを工夫し、保護者等の皆様に「児童発達支援計画に沿った支援が行われている」と思ってもらえるよう、努めております。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームを行っているか		○		チームでの立案を常に意識しておりますが、職員間で話し合う時間がまだまだ充分ではないと感じており、今後改善してまいります。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			過去の支援記録を読み返したり、職員間で意見を出し合ったりして、活動プログラムが固定化しない工夫をしております。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		○		現在は、利用時間枠ごとに、個別活動のみの方と、小集団活動の方で、分かれてご利用いただいております。その中で、児童発達支援計画は個々の状況に応じて作成しております。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			行なっております。
⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			行なっております。	

	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		行なっております。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児童発達支援ガイドラインに基づいて、6ヶ月に1回以上の頻度でモニタリングを行い、計画の見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	担当者会議への出席の実績はまだありませんが、障害児相談支援事業所を通してご利用いただいているケースでは、事業所間の情報共有を児童発達支援管理責任者が行っております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		事業所のご案内や状況の伝達のみならず、保護者等の皆様のご了解を得られた場合には、個別のケースについても情報共有をして、連携を図っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	現在はありません。今後、該当するお子様を受け入れて支援する場合には、関係機関との連携を密に行ってまいります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	現在はありません。今後、該当するお子様を受け入れて支援する場合には、連絡体制の整備に努めます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者等の皆様のご要望に応じたり、ご了解いただいた上で、所属先を訪問させていただいたり、情報共有や相互理解を図っているケースがございます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	現在はありませんが、今後、必要に応じて小学校や特別支援学校(小学部)等との連携を図ってまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携し、助言や研修を受けさせていただいております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在はありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	現在はありません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		共通理解を持つために、保護者等の皆様と送り迎えの際や適宜面談を行い、お子様の状況や課題等について伝え合うよう、努めております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	現在は行っておりません。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約時に説明させていただいております。今後、変更時も速やかにお伝えするよういたします。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		極力丁寧に説明を行い、ご同意いただいております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	児童発達支援ガイドラインに基づいて、6ヶ月に1回以上の頻度でモニタリングの面談をさせていただいておりますが、今後、必要に応じて定期的に相談に応じてまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会等は行っておらず、今後も予定はありません。保護者等の皆様同士の会話が弾むような雰囲気を作っていくよう心がけております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	今後、申入れがあった場合には迅速かつ適切に対応してまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人内の公式LINEにて、毎週の活動概要を発信しており、弊所のホームページからもご覧いただくことができます。また、毎月のプログラム予定

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報保護の観点から記録や書類等は鍵付書庫で保管しております。また、お子様に関して、施設内での撮影や会報等への掲載等については、契約時に確認させていただいております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日頃からの意思疎通のほか、弊所の連絡帳を利用いただいております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後、検討してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		ガイドラインとして、保護者等の皆様に配布しております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練のほか、開所時には地域の消防局のご協力のもとで通報訓練や消化器使用訓練等を実施しました。今後も定期的に行ってまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に確認しております。服薬や状況に変化があった場合にはその都度お知らせいただき、対応しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在は該当するケースがありません。アレルギーについては契約時に確認しております。医師の指示書がある場合には、それに基づいて適切に対応してまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットがあった場合、速やかに記録を残し、職員間で共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年行われる地域の虐待防止研修に必ず参加してまいります。今年度も、参加した職員から施設会議の場で報告を兼ねて、職員研修を行いました。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	現在は、児童発達支援計画に記載するケースはありません。虐待防止研修や児童発達支援管理責任者研修等で得た情報に基づいて、身体拘束について職員間で話し合い、今後必要があれば適切に対応してまいります。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。